

城南処理区 大規模雨水処理施設整備事業計画（高崎市）

（様式１）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	城南処理区では昭和3年から下水道の管渠の整備を開始したため、合流管渠などの雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 対象降雨：62 mm/hr（城南処理区の計画降雨強度） ②目標設定 ・ 市民の生命・財産を守る観点から、将来にわたり、床上浸水を防止する。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有（平成 年 月 日策定済み） ・ 策定予定（令和8年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 合流管渠調査 ・ 合流管渠改築工事（φ220～830）L=2,900m）
			下水道管理者以外	・ 該当無し
		ソフト対策	下水道管理者	・ 該当無し
			下水道管理者以外	・ 該当無し
	自助	ハード対策		・ 該当無し
		ソフト対策		・ 該当無し

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

＊下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

年度計画（百万円）

名 称	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
合流管渠	90	114	126	110	110	550
計	90	114	126	110	110	550

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	老朽化している城南処理区の合流管渠施設について、雨水排水機能を適切に確保する。 （62mm／hr、1／5 対応）
放流先河川との調整状況	該当無し
その他	本計画の対象合流管渠の調査・改築工事については、ストックマネジメント計画に位置付けられている。